

令和5年度 えりも型子育て全体構想（グランドデザイン）

えりも町学校教育の推進

今日の時代に対応する「知・徳・体の調和の取れた教育」

めざす子ども像

考える子 思いやりのある子 たくましい子

学校教育の基本姿勢

- 1 基礎学力の保障
- 2 幼・小の接続と幼小中高の学びの連続
- 3 えりも高校の存続への対応

8つの積極的な危機管理

- ①組織・運営 ②教育課程 ③生徒指導
- ④健康安全 ⑤服務・勤務 ⑥施設管理
- ⑦保護者・団体・関係機関 ⑧個人情報

目標とする資質・能力

知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等		
①基礎的・基本的な知識・技能	②道徳的価値の理解	③健康・安全の知識・技能	④課題を解決する思考力・表現力	⑤道徳的な判断力・心情	⑥健康・安全の課題解決の思考力・表現力	⑦主体的に学習に取り組む態度	⑧道徳的な実践意欲と態度	⑨健康の保持増進・安全と体力向上への意欲・態度

えりも町教育行政執行方針の柱となる推進事項

1 児童生徒を育てる地域と共にある学校

- (1) 資質・能力を育む教育活動の充実
- (2①) 豊かな人間性を育む教育活動の充実
- (2②) 健やかな体を育む教育活動の充実
- (3) 配慮を必要とする児童生徒への支援
- (4) 幼児教育と小学校教育の接続

2 希望の進路実現を目指すえりも高等学校の教育

- (1) 一人一人の進路に対応する学校経営の充実
- (2) 魅力ある教育活動の推進
- (3) 存続対策

3 小・中高一貫教育の推進

- (1) 小中高
 - ・英語等検定他5項目
- (2) 中・高
 - ・自然や地場産業を生かした総合的な学習他3項目

4 地域と一体となった学校

- ・信頼の絆3項目
- ・具体的な取組3項目

未来えりも学15項目

幼児教育

幼児教育を行う施設として共有すべき事項

育みたい資質・能力の基礎及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(活動全体によって育むこと)

知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎					学びに向かう力、人間性等			
数量や図形、標識や文字等への関心・感覚	自立心	協同性	思考力の芽生え	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現	健康な体と心	道徳性・規範意識の芽生え	社会生活との関わり	自然との関わり・生命尊重
要領(8)・指針ク	要領(2)・指針イ	要領(3)・指針ウ	要領(6)・指針カ	要領(9)・指針ケ	要領(10)・指針コ	要領(1)・指針ア	要領(4)・指針エ	要領(5)・指針オ	要領(7)・指針キ

1(4) 幼児教育と小学校教育の接続（架け橋プログラム事業を柱に展開）

- (1) 経営・指導交流
- (2) 架け橋プログラムの作成と実践
- (3) 幼児・小学生の交流



えりも町「架け橋期カリキュラム」



考える子・思いやる子・たくましい子

めざす子ども像																										
目標とする資質・能力	①基礎的・基本的な知識・技能 ④課題を解決する思考力・表現力 ⑦主体的に学習に取り組む態度								②道徳的価値の理解 ⑤道徳的な判断力・心情 ⑧道徳的な実践意欲と態度								③健康・安全の知識・技能 ⑥健康・安全の課題解決の思考力・判断力 ⑨健康の保持促進・安全と体力向上への意欲・態度									
時期	年長児（5歳児）												10の姿	第1学年（6歳児）												
育ってほしい児童の姿	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10の姿	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
【重点】 ☆協同性 ☆言葉による伝え合い	○友達の中で自分の考えを伝え、相手の話をよく聞くとする ○相手の気持ちや思いに気付く ○好きな遊びを見つけ、友達と一緒に楽しむ ○遊びや集団生活を通して、ルールを守ろうとする ○友達と思いや考えを伝え、話合いを受け入れる ○友達との共通の目標に向かって取り組む ○友達との話し合いの中で、イメージを共有しながら遊ぶ ○友達との遊びや活動の中で、それぞれが力を出し合い、協力して達成感を味わう												①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え	○安心して学校生活を送る ・学校生活へ期待をもつ ・新しく出会う友達や先生に親しみを感じる ・自分の考えを伝える ○友達と協力し、思いを実現する ・自分の力を生かそうとする ・相手意識をもつ ・試行錯誤を重ねる ○友達と課題解決に向けた活動に取り組む ・様々な考えに触れる ・折り合いをつけ、協力して活動する												
主な活動・単元と行事	幼保共通 保育所 幼稚園 入所・入園式 畑・収穫 終了・卒園式 畑づくり お別れ会 運動会 タベの集い 発表会 お楽しみ会 運動会 クリスマス会 幼保小交流会 幼保小交流会 一日入学												⑦自然との関わり ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い	<はじめまして しょうがっこう> 「がっこうのことが知りたいな」(生) 「おんがくにあわせてからだをうごかそう」(音) 「からだづくりうんどう」「てっぽうあそび」(体) 「たのしいいちにち」(国) など <しぜんとなかよし①> 「こういてくさばなやむしさがそう」(生) 「あさがおをそだてよう」(生) 「みずであそぼう」(生) など <しぜんとなかよし②> 「あきまさがそう」(生) 「あきのおもちをつくらう」(生) など <しぜんとなかよし③> 「そとであそぼう」(生) 「ふゆのことをたえよう」(生) など <みんなともだち> 「がっこうにいるひととなかよくなるう」(生) 「しらせたいことを かこう」(国) など <ぎゅっとともだち> 「たのしかったことをかこう」(国) など <ぐんぐん・ちゃれんじ> 「いっしょにあそぼう」(生) 「じぶんのいちにちをつみつめよう」(生) 「じぶんでできることをしよう」(生) 「これからもつづけよう」(生) など <ぐんぐん・ちゃれんじ> 「あたらしいねんせいをしようたいしよう」(生) 「しようたいしたいことをはなしかこう」(生) 「ねんかんをふりかえらう」(生) 「ありがとうわたしのきょうしつ」(生) など 入学式 運動会 幼保小交流会 遠足 学習発表会 幼保小交流会 卒業式 学級活動 一日入学												
配慮事項	・子どもの話によく耳を傾ける ・子どもが受け入れてもらっていると実感できる経験を重ねる ・発想を広げるため、自由に発言できる場と時間の確保 ・子ども同士の自由なやり取りの見守り ・子どもが存分に話し合い、納得し、行動するための時間と場の確保 ・小学校生活への期待が深まるような関わり												⑩豊かな感性と表現	・遊びを多く取り入れた学び、学習過程・展開の工夫 ・高さ、大きさ、広さなどの校内・学習環境の配慮 ・クロムブックの利活用(4月～) ・私物の管理の指導 ・児童の成長を価値づけるためのキャリアパスポート等の活用 ・思いやりや、憧れ、尊敬の気持ちをもたせるような行事や幼保との交流会 ・みんなで決めたことを実践する良さを実感できる学級活動の充実 ・一日入学など、成長を実感させる活動の工夫 ・進級への期待や希望をもたせる学級活動、道徳												
幼保小連携	子ども	・サケ稚魚放流 ・消防街頭啓発キャンペーン ・幼保小交流会												年長児との交流会	・年長児との交流会											一日入学
	職員	・入学後の実態交流 ・授業参観 ・日常的な情報発信(グループウェア、お便り等) ・保育参観・授業参観 ・1年生及び年長児の実態交流 ・日常的な情報発信(グループウェア、お便り等)												・入学後の実態交流 ・授業参観 ・日常的な情報発信(グループウェア、お便り等)	・保育参観 ・授業参観 ・1年生及び年長児の実態交流 ・日常的な情報発信(グループウェア、お便り等)											・授業参観 ・1年生及び年長児の実態交流 ・日常的な情報発信(グループウェア、お便り等) ・引継ぎシート
家庭との連携	・日常的な情報発信(お便り、個人ノート等) ・子どもとの情報共有(懇談会、参観日、個人ノート等) ・行事への参加と参観													・日常的な連携(お便り、HP、電話、家庭訪問等) ・全校参観日、個人面談、行事の協力 ・日常的な連携(お便り、HP、電話、家庭訪問等) ・全校参観日、PTA活動(親子レク、懇親会)、行事の協力 ・日常的な連携(お便り、HP、電話、家庭訪問等) ・なわとび集会、全校参観日、行事の協力												

資料 1-1 佐呂間町架け橋プログラムテーマの概要

中核施策：(**佐呂間町 令和5年度「教育行政推進方針」**)

「0歳から18歳までを見通した教育」 → 接続課題の検討

幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業 事業計画

佐呂間版架け橋プログラムテーマ【コアイメージ】

さろまっ**こ**を **つ**なぐ、**と**もにはぐくみ・いかし合う

「さこっと」

こどもの「育ちをつなげる架け橋プログラム」を立場や
施設類型を超えて、佐呂間町の大人が協働し、作っていく

さろまっ子をつなぐ、ともに育み・生かし合う

つなぐ :

- ① こどもの教育をより良くつなぎ、橋渡しする。
- ② 保小が互いにより良く知り合い、信頼を築いていく。

(*同じ子達を引き継ぐ教育者同士のつながりと連携が大事)

ともに育み・ :

- ① 保小・保護者・地域や町が一体となって、こどもたちを共に育てる。
- ② 交流を通して子供たちが安心して育ち、学べる環境を共につくる。

生かし合う :

- ① 互いの教育情報・スキル（良いところ）を生かし合う。
- ② 互いの人・環境を生かし合う。 (近隣の施設：遊具、行事、本)

資料 2-1

さろまっ子 虹の架け橋カリキュラムⅠ（保小版）

年齢	0歳からの育ち	年長（5～6歳児） アプローチカリキュラム			共通の視点	小学校1年生（6～7歳児） スタートカリキュラム			2年生以上の育ち	中高生以上の育ち	
発達期	芽生え期	第Ⅰ～Ⅲ期	第Ⅳ期（旅立ち期）				第Ⅰ期（出発期）		第Ⅱ～Ⅳ期	ステップ期	ジャンプ期
月			1月	2月	3月		4月	5月	6月		
行事					卒園式		入学式		運動会		
育てたいさろまっ子の姿	*		(例) 協力して遊び、学び、生活する子供				(例) ○○○○に意欲を持って○○する子供			*	
活動・資質発揮の場 (単元構成)	学ぶ力 かしこく 環境(もの・ひと・こと)との関わりを通し		(例) ○	(例) ○	(例) ○ ○絵本「読み聞かせ」で語感を豊かに ○興味・関心・意欲 ○観察力・発想の豊かさ・自由性・創造性 ○季節の自然との関わりの中で、発見や驚きを友達と共有し、試したりする。~~~~~	思考力 数量・図形・標識・文字 言葉 自然・生命尊重 自立心 協同性 道徳・規範意識 豊かな感性・表現 健康 社会	(例) ○言葉の「語感やきまり」への共同注意へ ○「正しい鉛筆の持ち方」「座り方」 ○友達の名前に関心を持つ	「学ぶ力」領域の初年度は～ 精選し、特に「国語・算数・生活科を」重点的に関連付ける			
	人と関わる力 なかよく 環境(もの・ひと・こと)を通し				(例) ○ ○友達との思い出を振り返り、かけがえない出会いを温める。						
	生きる力 たくましく 環境(もの・ひと・こと)を通し				(例) ○						
指導上の配慮事項			(例) ○子ども達自身の興味や気づきを大切にに関わり、環境を構成する。								
共通に活かせる学びのプロセス・見方・考え方			「身近な環境に自ら、主体的に関わる力・(興味・関心・意欲・試し・工夫・観察力・発見力などの)								
保小の連携交流活動		ここを開発② C →交流と連携の検討									
家庭との連携											
連携機関・部局その他											

ここを開発③ D

ここを開発① A

ここを開発① B

ここを開発③ E

さろまっ子ナーの力豊かなコミュニケーション

読みの○○づくり

「学ぶ力」領域の初年度は～ 精選し、特に「国語・算数・生活科を」重点的に関連付ける



「身近な環境に自ら、主体的に関わる力・(興味・関心・意欲・試し・工夫・観察力・発見力などの) 学びのプロセス」 → 保小共通で活かせる力

ここを開発② C →交流と連携の検討

「発達や学びの連続性を保障する架け橋期のカリキュラム」の全体チャート (開発会議・ワーキンググループ用)

保育園・幼稚園 (保育所保育指針)		保小の架け橋期 ＜発達や学びの連続性を保障する		小学校 (小学校学習指導要)										
		ここを開発												
		アプローチカリキュラム		スタートカリキュラム										
活動・資質発揮の場		保育所での遊びを通した5つの領域の育ちが、小学校の学習や生活で 生き生きと発揮できるように (★一年を4期に分けて活動と目標を)		保育所での遊びや生活を通した 学びと育ちを土台に生かして 、主体的に自己を表現し、学ぶ力を発揮できるように (★一年を4期に分けて活動と目標を)										
		共に育ちを見る「視点」です。 到達目標ではありません												
保育		10の姿		主体的・対話的で深い学びを経て										
遊び・行事・運動会		① 健康な心と体		体力・健康・安全										
朝の会 設定保育の活動 制作活動 自由遊び 給食 行事		② 自立心		学びに向かう力・人間性等										
環境との関わり		③ 協同性		非認知的スキル										
		④ 道徳性・規範意識の芽生え		知識・技能										
		⑤ 社会生活との関わり		思考力・判断力・表現力										
		⑥ 思考力の芽生え		認知的スキル										
		⑦ 自然との関わり・生命尊重												
		⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚												
		⑨ 言葉による伝え合い												
		⑩ 豊かな感性と表現												
作成中		さろまっ子 +1 ぷらすわんの力 「豊かなコミュニケーション力」 未来の郷土を創るサロマ人を育む												
				教育課程 主な教科教育										
				<table border="1"> <tr><td>体育</td></tr> <tr><td>道徳</td></tr> <tr><td>特活</td></tr> <tr><td>生活</td></tr> <tr><td>国語</td></tr> <tr><td>外国語</td></tr> <tr><td>算数</td></tr> <tr><td>音楽</td></tr> <tr><td>図工 他</td></tr> </table>		体育	道徳	特活	生活	国語	外国語	算数	音楽	図工 他
体育														
道徳														
特活														
生活														
国語														
外国語														
算数														
音楽														
図工 他														
				各教科系列										
				行事 係活動 児童会・クラブ 課外活動										
				教科外系列										

資料 5

【さろまっ子わが町版プログラム試案】 こどもの学びの段階[資質・能力]を捉えた保育と学習の関連表

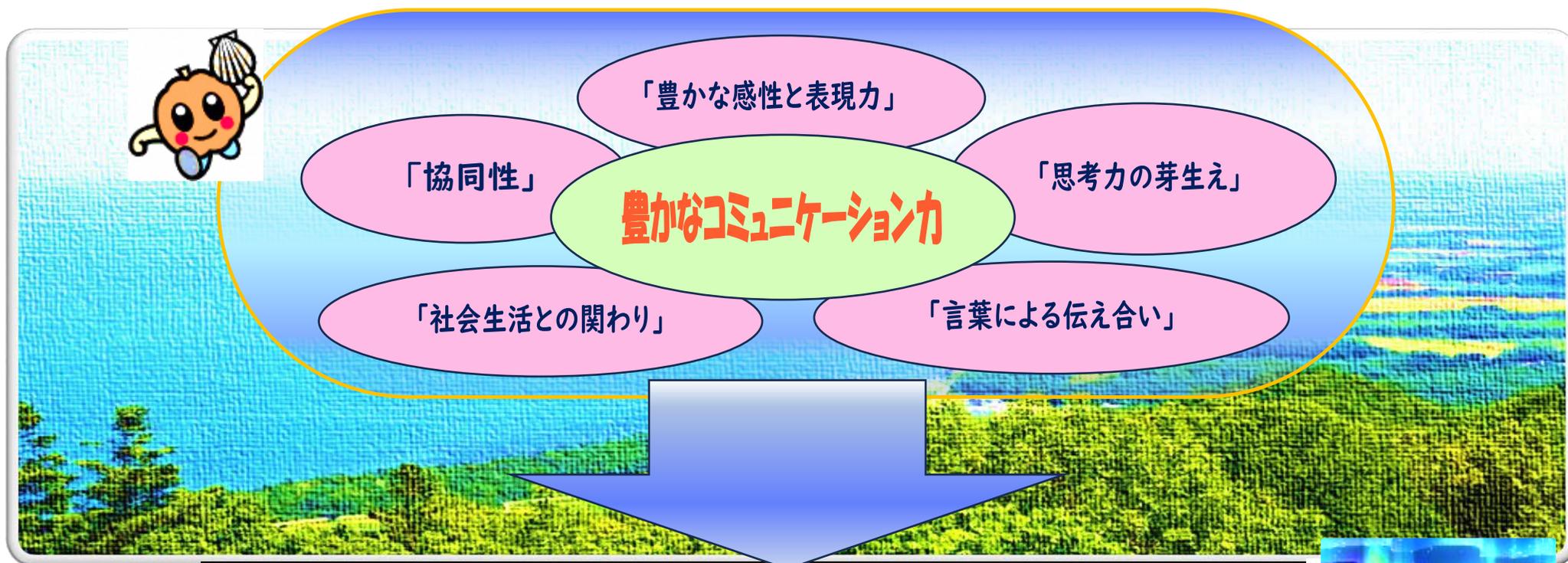
前操作期〔学びの芽生え期〕		具体的操作期〔自覚的な学び入門期〕	
★保育所保育指針の「保育に関するねらい及び内容」		★学習指導要領 の「目標及び内容」	
領域 【設定保育 遊び・生活】	<p>① 自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。</p> <p>② 人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。</p> <p>③ 日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、言葉に対する感覚を豊かにし、保育士等や友達と心を通わせる。</p>	<p>10の姿</p> <p>(10の姿 ケ.)</p> <p>言葉による 伝え合い</p>	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活に必要な国語を適切に使う。</p> <p>(2) 伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。</p> <p>(3) 国語能力の向上を図る態度。</p>
「言葉」おもに領域	<p>ここを設定保育遊び・生活で開発①</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○絵本や物語の読み聞かせ ○心動かす体験を伝え合う、聞き合う→共感・楽しさ ○当番の司会 ○発表 ○保育士や友達との関わり・対話 ○見つけたことを伝える活動 ○質問に、答える活動 ○ごっこ遊び ○ことば遊び・ひらがなパズル ○なぞなぞ・クイズ ... 	<p>言語活動</p> <p>【対話～伝える・受け止める】</p> <p>ことばの意味・働き・使い方に着目して</p> <p>思考力・想像力表現力を養う</p>	<p>おもに思考判断表現とできるもの→</p> <p>ここを全教科で開発①</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○読み聞かせ ○音読(個人・斉読) ○伝えたいことがらえらび ○図書館巡り ○事柄の順序を考える・まとめる ○主語と述語を理解し表現する ○書く活動 ○絵日記 ○作文 ○発表会 ...
	<p>①保育士等や友達の言葉や話に興味や関心をもち、親しみをもって聞いたり、話したりする。 思判表 人</p> <p>②したり、見たり、聞いたり、感じたり、考えたりなどしたことを自分なりに言葉で表現する。 思判表 知・技</p> <p>③ したいこと、してほしいことを言葉で表現したり、分からないことを尋ねたりする。 思判表 人</p> <p>④ 人の話を注意して聞き、相手に分かるように話す。 知・技 思判表</p> <p>⑤ 生活の中で必要な言葉が分かり、使う。 思 知・技</p> <p>⑥ 親しみをもって日常の挨拶をする。 人</p> <p>⑦ 生活の中で言葉の楽しさや美しさに気付く。 知・技 人</p> <p>⑧ いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする。 知・技 思</p> <p>⑨ 絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像をする楽しさを味わう。 知・技 思 人</p> <p>⑩ 日常生活の中で、文字などで伝える楽しさを味わう。 知・技 思 人</p>	<p>おもに思考判断表現とできるもの→</p> <p>ここを全教科で開発①</p> <p>(1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 知・技</p> <p>(2) 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。 思判表</p> <p>さろまっ子+1 ぷらすわんの力</p> <p>(3) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。 人</p>	<p>「言語能力・コミュニケーション力」(教科横断的力)</p>

資料 3

さろまっ子の力

～【保小接続学びのテーマ その1 と10の姿の関わり】保育・教育の架け橋による18歳までの土台づくり～
→ **「豊かなコミュニケーション力」**の育成を通して、10の姿に加え、以下の5つの力を統合的につなぎ伸ばし、地域としての「遠隔性（*）」を超えていける力を豊かに育む。

「さろまっ子の豊かな表現力と感性を未来へ、グローバルにつなげ、広げ、伸ばす」



さろまっ子 + 1 ぷらすわんの力

「豊かなコミュニケーション力」

未来の郷土を創る**サロマン**を育む



育てたい さるまっ子の姿	【学び・コミュニケーション】 ★思いを伝え合い豊かな未来を創る子	【協同・豊かな心】 ★認め合い、励まし合える子	【体力・自立・チャレンジ】 ★健康な心と体を持ち、やり遂げられる子
-----------------	-------------------------------------	----------------------------	--------------------------------------

期	第Ⅰ期〔準備期〕 助走	第Ⅱ期〔進展期〕 ホップ	第Ⅲ期〔発展期〕	第Ⅳ期〔充実期〕	共通の視点	
月	4月・5月	6月・7月・8月・9月	10月・11月・12月	1月・2月・3月		
<small>さるまっ子+1となる資質・能力</small> : コミュニケーションの力【重点】 : 読む力の基礎(聞いて理解する) : 聞く力の基礎 *「季節の行事」を除く活動は、通年で実施している						
ねらい	◎喜んで登所・仲良くあそぶ	◎元気いっぱい遊ぶ	◎決まりを守る	◎すすんで行動		
各期に予想される こどもの姿	★年長組になった喜び ～リーダーとしての活躍～	★思いを伝え合い経験を広げる	★共通の目的を持って、考え、工夫 し力を発揮	★就学への期待を膨らませ絆を深める。		
学ぶ力 <small>保育指針 5つの領域</small> <small>生きる力</small> <small>人と関わる力</small>	言葉 <small>コミュニケーションの力</small>	絵本 味わう・表現に気付く① 語りかけ 共感しながら聞く ②	絵本 想像したり、体験と照らす③ 遊び 工夫・協力し合い遊ぶ⑥	伝え合い 伝え合う喜びを感じ、楽しむ ④ 作品テーマ 表現したいことをみんなで話し合う⑪	言葉 思考力 <small>伝え合う力</small>	
		遊び・生活 思いを出し合い遊び生活する④ 日直 元気に司会⑦ 鉛筆 正しく持とう⑧	会話 体験・思いを伝える⑤ 掲示物 文字に親しむ・読もうとする⑨	おゆうぎ会 感情豊かに表現する⑩		言葉 思考力 <small>数量感覚</small>
		遊び・生活 数量への関心 数える <small>縄跳び、積み木、玉入れ、カルタ、おやつ、給食 ⑫</small>	制作・散策 素材の数や形に気付く⑬ 数 合わせていくつ・多い少ない⑮	形 組み合わせ・大きさ・長さ⑭ カレンダー・時計 何日、何時ごろ、数字⑯		
	畑栽培 野菜の苗植える⑱ 散歩 自然に触れる⑳	お世話 動植物の命を育む⑲ 野外観察 生き物に触れ調べる㉑	収穫・調理 ㉒ → 施設訪問 ㉓ 落ち葉・秋の実集め ㉔ → 焼き芋会・制作 ㉕	言葉 思考力 <small>社会生活</small> 自然・生命 <small>自立・探求</small>		
	朝の歌 友達と元気に歌う㉘	制作 素材を生かした造形㉙	表現 心豊かに歌、鍵盤、おゆうぎを楽しむ㉚		言葉 思考力 <small>表現性</small>	
	遊び 元気一杯に遊ぶ・運動する㉛	生活・安全 安全な遊び方・休息、衣服の調節や衛生㉜	体力 十分遊ぶ・運動する(マラソン、多様な運動) ㉝			言葉 思考力 <small>心と体</small> 健康 <small>自覚・協働</small>
	あいさつ ㉞ 生活リズム ㉟	自ら行動 ㊱ 共感・励まし ㊲	遊びのルール・話し合い ㊳	言葉 思考力 <small>道徳性・規範意識</small>		
	お世話活動 ㊴ 関わる力 ㊵	良い言葉 ㊶ 聞く・話す・食べる ㊷	役割の自覚・挑戦 ㊸		言葉 思考力 <small>関係調整力</small>	
	<small>年間行事</small> 入所式 発育測定 お誕生会(各月) こどもの日お楽しみ会 避難訓練(毎月) 健康診断	<small>年間行事</small> 七夕お楽しみ会 お泊まり会 運動会 遠足 参観日	<small>年間行事</small> マラソン大会 収穫・調理 やきいも会 おゆうぎ会 老人ホーム慰問 *お餅つき			言葉 思考力 <small>自立心</small> 協同性
	<small>年間行事</small> *雪中運動会 節分豆まき会 参観日 ひな祭りお楽しみ会 年長お別れ会 修了式	修了に向けて ㊹ 共通のテーマに向かって、役割分担をして力を合わせる		言葉 思考力 <small>関係調整力</small>		
学び共通のプロセス 保小共通で活かせる力 → 自ら遊び、自ら学ぶ～主体的に関わる力 ※興味・関心・好奇心・心動かす体験で得た学びの芽(観察→発見、試す→工夫→創造) 学びのプロセスを伸ばす ㊺						
指導上の 配慮事項	先生の関わり ★主体性を伸ばす関わり 「待つ」「促す」「問う」 <small>ねらい</small> ・自分から言葉で伝えられる ・自分から気付いて、行動できる	★話を伝えるときの要点 「考えさせる」「話し合わせる」「やらせてみる」 ★寄り添い、安心できる言葉掛け ★発達に応じた援助 ★注意ひきつけ			支える力	
	環境構成 ★諸感覚を発揮させる環境 ～ 裸足・身体・多様な素材・感触・感覚統合 ★多様な遊びの環境づくり ～ 遊技場・積み木・外遊び・遊具砂場、園外散歩コース	★絵本や掲示物・標識・マーク～子どもの見やすい所に絵本や掲示物を配置 ⇨季節ごとの作品や掲示物の工夫 ⇨下駄箱・ロッカーにイラストマーク+ひらがなの名札プレート等				
保小の交流活動	★保小の子ども同士の交流活動 ～※前期中に遊びや、触れ合い交流活動を通して、「小学校の校内の様子・学校環境・年配の児童」に出会い、ふれ合う(R6年度の実施に向けて)					
家庭や地域との連携	健康 ★健やかな生活リズムをつくりましょう	健康 ★早寝・早起き・朝ご飯・トイレを大切にしましょう	健康 ★絵本などの読み聞かせをご家庭でも	健康 ★「保育所だより」で園の活動・子どもの育ちを伝える	支える力	
	社会性 ★元気な挨拶を家庭でも、育みましょう	社会性 ★安全な登所・降所、交通・歩行ルールを	社会性 ★子どもの話をよく聞いてあげる習慣を大切に	社会性 ★「連絡帳」などで子どもの様子や育ちを伝える		

アプローチカリキュラム解説版（案）

絵本 ～ 絵本や物語の読み聞かせ ～

絵本①【前期】

絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付けていきます。

子ども達は語られた物語の世界を味わい、物語の中の豊かな表現、日本語のリズムや響きの面さなど、美しさに気付いたり、感性を揺らしながら共感していく力を身につけていきます。

（「10の姿「言葉による伝え合い」前半期をご参照ください。）

絵本③【後期】

絵本や物語などの読み聞かせを通して、読んでもらった絵本や物語に特別な親しみを感じるとともに、絵本や物語の世界を想像したり、自分の体験と照らし合わせたりして、豊かな言葉や表現を身に付けていきます。

さらに、「お話大好き！」「自分でも絵本を読みたい」など物語に関する興味・関心や知識の基礎(想像する力、登場人物の行動や先の展開を予測する力など)小学校の国語の力に必要な学びの芽が、自然な形で子ども達に育まれていきます。

（「10の姿「言葉による伝え合い」後半期をご参照ください。）



絵本や物語



育てたい
さろまっ子の姿

★思いを伝え合い豊かな未来を創る子

★認め合い、励まし合える子

★健康な心と体を持ち、やり遂げられる子

期 月		第Ⅰ期〔準備期〕 4月・5月・6月	第Ⅱ期〔進展期〕 7月・8月・9月	第Ⅲ期〔発展期〕 10月・11月・12月	第Ⅳ期〔充実期〕 1月・2月・3月	学習指導要領	
行事		入学式 一年生を迎える会 運動会	キャンプ・七夕 夏休み	遠足 学芸会 冬休み	書き初め 節分 送る会 卒業式 修		
保小一貫して育てたい力		★さろまっ子+1の資質・能力 : コミュニケーションの力【重点】 : 読む力 : 聞く力 : 書く力 / : 通年の活動・資質・目標					
伝え合う力	国語科	思考力 言葉による伝え合い	読もう 聞いて、感じて、伝えよう ① → 展開 場面、人物、順序をとらえよう ② → 想像 人物の行動を想像しよう ③ → 想起 経験と結び、感想を持とう ④ →	話そう 思いを伝えよう ⑤ → 相手意識 伝わるように話そう ⑥ → 工夫 声や順序を考えて伝え合おう ⑦ → 工夫Ⅱ 5W1Hで説明しよう ⑧ →	聞こう 相手を見て聞こう ⑨ → 感想・理由 感想・理由を言おう ⑩ → 考えて聞く よく聞いて、話をつなごう ⑪ → 情報 よく聞き、情報を整理しよう ⑫ →	書こう 持ち方・姿勢を考えよう ⑬ → 主語・述語 主語・述語を見つけて書こう ⑭ → 書いて伝える 記録して伝えよう ⑮ → 書く工夫 続き方・まとまりの工夫をしよう ⑯ →	読む力 話す力 聞く力 書く力
		思考力 数量・図形・標識・文字	数の大きさ 身の回りの物の数・順序 ⑰ → 式と計算 場面の絵を見て、問題を読み、多い少ないを考え、式にしよう ⑱ → 式と計算 3つの数をお話・ブロック・式で表現してみよう 足し算・引き算を工夫しよう ⑲ → 式と計算 大きな数はどうやって数える? 数のまとまり・生活では? / 式の工夫 ⑳ →	時刻 何時かな? ㉑ 式と計算 数のお話と計算 ㉒ 数の整理 身の回りの物の個数は? ㉓ 図形 形で遊ぼう、組み合わせてみよう ㉔ 測定 探検! ~測ってみよう/何時何分? ㉕	数の概念 式と計算 測定 図形		
学ぶ力 かしく	算数科	思考力 自然・生命尊重	学校大好き ㉖ 出会いのワクワク感や期待を持って学校探検しよう 咲いてね私の花! ㉗ 植物の命をよく見てお世話しよう 季節を感じよう1 ㉘ 春や夏の自然を一杯探そう ~発見・探求・遊びの工夫 ちいさないのち ㉙ どうしたら動物や虫などの命を大切にできるかな? 季節を感じよう2 ㉚ 秋を探そう~予想・観察・遊び・作品の工夫 家族とわたし 家族が喜びこと・自分に何ができるかな? ㉛ 季節を感じよう3 ㉜ 雪や氷など冬の自然を観察しよう/遊ぼう わたしの一年 ㉝ 一杯増えたよ、できること / 2年生に向かっての夢	自分・家族・学校 探求・体験 自然・社会			
		豊かな感性 表現	リズム・歌唱 歌う喜びを体一杯に表現しよう ㉞ 器楽・音楽づくり 一緒に音楽を楽しもう ㉟ 演奏 一緒に演奏する喜びを体験しよう ㊱ 歌遊び わらべ歌や歌遊びを一緒に楽しもう ㊲ 自由な発想で 好きな形や色、材料を生かして ㊳ 工夫して造ろう・描こう 楽しく造って一緒に遊ぼう ㊴ お話のある形や絵 想像を広げて造ろう・描こう ㊵ 試して、創って、楽しもう 繰り返し試して創り出そう ㊶ 造形・絵画 立体・鑑賞	歌謡・器楽 リズム・歌遊び 造形・絵画 立体・鑑賞			
生きる力 たくましく	生活科	健康な心と体	運動を楽しもう ルールを知り、運動を楽しもう ㊷ 色々な運動 マット・リズム・鬼遊び・プールに挑戦しよう ㊸ 目標にチャレンジ マラソン、縄跳びなど目標を持って挑戦 ㊹ 冬のスポーツを楽しもう スキーやスケート、雪遊び ㊺ 安全な学校生活 登下校・遊具の安全を知ろう ㊻ 体の健康 水分補給や、体調管理、衛生の大切さを知ろう ㊼ 調和のとれた生活 1日の生活の仕方を知ろう ㊽ 冬の生活・安全 冬の安全な生活、防寒を考えよう ㊾ 健康 安全	歌唱・器楽 リズム・歌遊び 造形・絵画 立体・鑑賞 体作り・器具・走・水遊び・ゲーム・表現リズム遊び			
		社会生活との関わり	学校を楽しく 挨拶や協力の大切さを話し合おう ㊿ 優しく・真っ直ぐ 人・命を大切に、正直に生きよう ① 役割・努力・公平 自分の役割に気付き、実践しよう ② メッセージ 自分の長所を知り、家族に感謝しよう ③ どうぞよろしく 「楽しい学級作り」を話し合おう ④ お楽しみ会 「楽しい学級行事」を話し合おう ⑤ 力を合わせて 学芸会の成功に向けて話し合おう ⑥ 見つけたよ! 自分と仲間の成長を伝え合おう ⑦	自己・自然 他者・社会 人間関係 自己・社会			
関係調整力	道徳	道徳性・規範意識	豊かに関わる やりたい遊びを友達と一緒に ⑧ ※以下は作成の途中です。 ⑨ 当番 活動を友達と協力して取り組む ⑩	【ワーキング参考】 関わり・環境構成～考える視点① ★「安心が第一」(心のベース・居場所・時間構成・トイレ・手洗い場・給食・校地) ★興味や主体的な意欲、新鮮な気付きを大切に ★段階的に安心して学べる環境づくり(無理のない時間構成の工夫、机の安心感) ★身体感覚の統合(5感をフルに・身体バランス) 感覚のピラミッド(校庭、樹木、木の実、グラウンド・砂場、学校菜園)			
		社会生活との関わり	学び共通のプロセス 保小共通で活かせる力 → 自ら遊び、自ら学ぶ～主体的に関わる力 ※興味・関心・好奇心・心動かす体験で得た学びの芽(観察→発見、試す→工夫→創造) 学びのプロセスを伸ばす ⑫				
支える力	指導上の配慮事項	先生の関わり	★主体性を伸ばす関わり「待つ」「促す」「問う」(※WG意見と手引きp43) ⑬ ねらい・自分から言葉で伝えられる・自分から気付いて、行動できる	★話を伝える関わり「考えさせる」「話し合わせる」「やらせてみる」 ⑭ ★寄り添い、聴く。★安心できる言葉掛け★発達に応じた援助★注意ひきつけ			
		環境構成	★諸感覚を大切に育て、発揮させる・身体、感覚統合を意識した環境構成 ⑮ ★段階的に、安心して学べる環境づくり(無理のない時間構成の工夫、居場所)	★絵本や物語～身近に絵本・物語、ブロック等玩具～始業前の自由遊びタイム ⑯ ★下駄箱・ロッカーなど～イラストマーク+ひらがなの名前 ★タブレットの段階的な活用			
保小の交流活動		★保小の子ども同士の交流活動 ~※前期中に遊びや、触れ合い交流活動を通して、「小学校の校内の様子・学校環境・年配の児童」に出会い、ふれ合う(R6年度の実施に向けて) ⑰					
家庭や地域との連携 ㉑	健康 社会性	★早寝・早起き・朝ご飯・トイレを習慣にしましょう	★家庭学習の習慣づくりにご協力お願いします	★読み聞かせや、お家で読書をしましょう	★「学校だより」「懇談会」で子どもの育ちや活動を伝える		
		★安全な登下校・交通ルールを覚えましょう	★子どもの話をよく聞いてあげましょう	★家庭のお手伝いを積極的にさせましょう	★「連絡帳」などで子どもの様子や育ちを伝え合いましょう		

資料2-4 スタートカリキュラム解説版(案)

スタートカリキュラムのねらいと接続のポイント

① 「読もう」

～ 聞いて感じたことを友達や先生に伝えよう ～



【单元名】 「おはなし ききたいな」 配当時間 2時間（読むこと領域②）

【单元の目標】 読み聞かせを聞いて楽しむ

- ◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。（知・技(3)工）
- 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。（思・判・表C(1)才）

【対応するさろまっ子アプローチカリキュラムの番号】 ③ （①、②、④）

重点③：幼児期の活動経験

物語の展開を想像したり、自分の体験と照らし合わせながら読み聞かせを聞こうとする。

【幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿】 「言葉による伝え合い」

【保小接続の視点】 「前経験、安心」

スタート時の児童達は、保育所時代に、長い期間継続して保育士による数多くの絵本に触れ、豊かな「読み聞かせ」の経験を重ねている。

- ①子ども達には共感力や集団と自己の思いを重ねて物語の展開を体感していく感性が育まれている。この单元では、幼児期に培われた豊かな読み聞かせ経験を生かしたい。
- ②子ども達は読みたい絵本を皆で選択するといった機会も経ており、ここでも「選択の機会」を与えることで、幼児期に培った「自発性」や自己の興味・関心に基づいた「主体性」を引き出したいところである。

【発問例】

- ① 「保育所の時は、どんな素敵な本に出会いましたか？」
- ② 「その本のどんなところが好きだった？」

※読後は時間が許す限り多くの児童に発表させる機会をもちたり、互いの感想を共有持つ場面を大切にしたい。

※学習活動例としては「年間指導計画」を参照下さい。